

コーポレートアイデンティティ(CI)の策定について

三井丸紅液化ガス株式会社(代表取締役社長:佐藤雅一)では、コーポレートアイデンティティ(CI)を策定致しました。

弊社は、三井液化ガス株式会社と丸紅ガスエナジー株式会社が事業統合し本年4月1日付で発足、このたび、新会社の経営理念である「地球を守り共に繁栄する」というビジョンの下、「アイデンティティ目標」及び「シンボルマーク」を下記の通り決めました。

【アイデンティティ目標】

立脚点 :経営基盤の強化と規模の拡大により、小売まで行き届いたネットワークを構築し、LPガス業界のリーディングカンパニーを目指す。

行動／個性 :地域密着・顧客密着のもと、業績だけではなく安心や信頼感を含めた企業品格ナンバーワンを追求する。

提供価値 :クリーンなLPガスの供給を通して、快適で健康的な暮らしを届ける。

【シンボルマーク】



※MLG:MitsuiMarubeni
LiquefiedGasの略

【特徴】「三井」と「丸紅」のMをモチーフとした、シンプルで力強く象徴的なデザイン。

左右への広がりや安定感を持つ二つの柱は、広がるネットワークと確かな経営基盤による信頼感、安心感を表します。

柱と一体となって右上へ上昇するしなやかな円弧のフォルムは、積極的なリーダーシップとグループ企業が手を携え、未来へ向かい共に成長する姿を表します。

メインカラーである鮮やかな「赤」は、三井液化ガス株式会社、丸紅ガスエナジー株式会社両社のDNA継承を表します。また、希望や輝きをイメージさせる「オレンジ」は、クリーンエネルギーLPガスの供給によってもたらされる快適で温かな暮らしを表現しています。

弊社ではこの新しいシンボルマークの下、あるべき将来の姿として定めたアイデンティティ目標へ向かい、社員間の融和を進め一致団結していく所存です。

以上